

がまこおり 議会 だより

● 3月市議会定例会 ●

- 一般質問…ここが論点…………… 2～5
- 議決された主な議案…………… 6～9
20年度一般会計予算 227億4,200万円
- 議会日誌、5月臨時会・6月定例会予定………… 10

NO. 56
2008. 5



春を振り出そう 竹島の潮干狩り

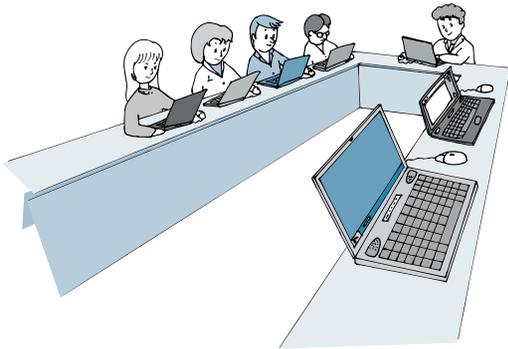
一般質問…ここが論点

3月定例会

3月市議会定例会中、5日、7日の2日間で、4人の議員が会派を代表して質問し、3人の議員が個人質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。

詳しい内容をお知りになりたい方は、3月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システムをご利用ください。発行・掲載はいずれも6月上旬の予定です。

また、インターネット録画中継も実施していますのでご覧ください。



蒲郡市政クラブ
代表 土屋善旦

財源確保と経費削減 対策について

問 財源不足が継続する中で、財源の確保とどのような経費削減を実施するつもりか。

答 市税収入と地方交付税の増加が期待できないため、大変厳しい財政状況にあり、基金の取り崩しとポット会計からの繰出金に依存することになる。市税の収納率の向上や滞

納整理による努力を行い、企業誘致や産業振興への支援による新たな財源確保にも努めたい。

歳出抑制を図るため、これまで以上の行財政改革と事務事業の見直しを行い、指定管理制度の活用や施設の廃止または凍結も検討する必要がある。

国道247号と市道 形西線の進捗状況は

問 市街地の慢性的な渋滞緩和に向け、早期完成が期待される国道247号と形西線の現況と今後の予定について伺う。

答 国道247号中央バイパスは、オレンジロードから図書館北までの区間を平成20年に開通し、竹谷町ジャスコ西交差点までを22年度開通を目標にしている。

形西線の一部で以前から交渉が難航していた案件が収入手続きに入ることになり、近日に用地取得が可能となった。全線開通は22年度の予定だが、順次供用開始を行いたい。

中央バイパス（荒子トンネル）



蒲郡北駅前広場整備 について

問 新年度予算化されている事業内容と広場整備計画はどのようなものか。

答 19年度に実施設計と区域変更を行い、広場面積が1900㎡増加した。既存の広場形態が基本となり、有料駐車場とタクシールールをそれぞれ拡張して整備する。

健康づくりモデル地区 事業について

問 具体的な事業目的と内容について伺う。

答 蒲郡西部地区をモデル地区とし、地域住民に自主的に健康づくりに取り組んでもらうものである。保健センターで健康生活の目標と実践メニューを多数用意し、その中から自分に合うものを選び、実践し、習慣化に繋げようとするものである。

「中央子育て支援センター」の概要は

問 子育て支援充実のため、中央子育て支援センターを開設予定だが、その概要と市の今後の支援体制はどのようなか。

答 旧市民病院の院内保育所を改修して、市民が利用しやすい「集いの広場型」の支援センターとして開設する。今後は東西のセンターとのネットワーク化を図っていききたい。

ごみ減量モデル地区 での成果について

問 プラスチック製容器包装の分別収集と資源物の早朝収集をモデル地区で

蒲郡市消防本部



試行的に実施したが、結果はどうかであったか。

答

昨年10月から両事業を市内1地区で試行的に行った。プラ容器分別収集は予想以上の成果があり、可燃ごみの回収が半減している。早朝回収も問題は少なく良好に推移している。

**消防広域化に
どう対処するか**

問

県が計画する広域化再編成案では、県下で11消防に、東三河では全体を1つの消防本部とするようだが、市の考え方を伺う。

県が計画する広域化再編成案では、県下で11消防に、東三河では全体を1つの消防本部とするようだが、市の考え方を伺う。

消防の対応力の強化が図られ、住民サービスの向上に繋がる広域化を基本に、地域の将来を考え、検討・協議を重ねていく。

**特色ある学校づくり
について**

問

各校に300万円の予算化がされるが、現在提案されている計画や期待されている成果は何か。

答

それぞれ各校が目的やねらいを持って特色あるプランを作成しており、保護者や地域にも十分受け入れられるものと判断している。

**競艇場の施設改善と
岡崎市交付金問題は**

問

売上げ好調なこの時期に施設改善に着手すべきでないか。また、岡崎市への交付金の協議の状況と今後の対応について伺う。

答

老朽化が目立つ施設を収益のあるうちに改善したい。今年から基本設計に着手し、24年度までに中央集計棟の改修工事を行い

蒲郡競艇場



たい。その後のスケジューリングは未定だが、入場者数に見合ったコンパクトな施設を考えている。

岡崎市への交付金は、何度も協議を行っているが、現在のところ合意に至っていない。今後も毅然とした態度で協議継続をしていく。

**市民病院の
医師確保対策**

問

深刻な地方の医師不足に対する市の取り組みと大学との交渉状況を伺う。

答

国・県が緊急予算措置を講じたが、即効性が

出していない。医師の派遣を大学に依存する状況が続いており、市長・議長・商工会議所会頭で要請活動を行っているが、大変困難な状態であると思っている。

公民館建設の予定は

問

形原公民館の新設予定と老朽化が進む他の公民館の改修計画はどうか。

答

今年度は地質調査等と実設計を行い、21年度に建設工事の予定をしており、その後は蒲郡公民館を考えている。

**会派がまごおり
代表 莊田博己**

**設楽ダム事業に対する
市の考え方は**

問

2002年完成の豊川総合用水事業で水は充分足りている。しかし、2070億円もの巨費を投じてダムを建設すれば、下流域の負担も大きい。これをどう考えるか。

答

ダム建設は、東三河地域の長年の課題であり悲願である。ダムの早期建設のために東三河の一員として応分の努力、負担は当然であると考えている。

具体的な負担額はまだ確定していないが、県から提示されたものをベースに下流市町で議論し、決まってくることになる。

問

三河湾の水質、干潟のアサリなどの生態系に影響を与えないか。

答

設楽ダムから三河湾に流れ込む流量は少なく、その影響は小さいと考えられている。また、堆積の砂も水質悪化につながる可能性は極めて小さいと聞いている。

問

蒲郡市は漁業、観光で成り立っている部分が大い。国に下流域での環境調査の実施を求めるべきではないか。

答

下流部は、ダムの影響調査把握には適していないと聞いている。

市民病院の経営は

蒲郡市民病院



問 市民病院の現状はどうなっているのか。

答 11月以降、医師の数は変わっていない。病床利用率は80%前後を確保している。救急外来は市民の皆さんの理解のおかげで減ってきている。

問 市民病院として継続していくためにはどんな選択肢があるのか。

答 公立病院の経営改革プランによると、①毎年20億円程度の繰入れが必要となるが、現状の病床数を維持する。②医師引き上げの可能性が生じるが、病棟

単位で病床の削減を図る。③診療科、診療体制の制限が考えられるが、近隣病院とのネットワーク化を図るの3つがある。

問 競艇事業からの繰入れができなくなった場合には、市として市民病院をどうするのか。

答 今のような資金不足を生じている場合には、病院を存続するために、他会計から繰入れをすることになる。病院の継続については、市民の意見を聞いたうえで検討していく。

- その他の質問
- 1 競艇事業の展望
 - 2 子育て支援
 - 3 学校教育

公明党蒲郡市議団
代表 松本昌成

行財政改革への具体的な取り組みは

問 出先施設について指定管理者制度導入を検討し、職員削減を図るとある

が、市の取り組みを伺う。
答 指定管理者制度は、40の公共施設について実施をしている。21年度には市営住宅と図書館の2つを集中改革プランの中で掲げている。前向きな形で進めていきたい。

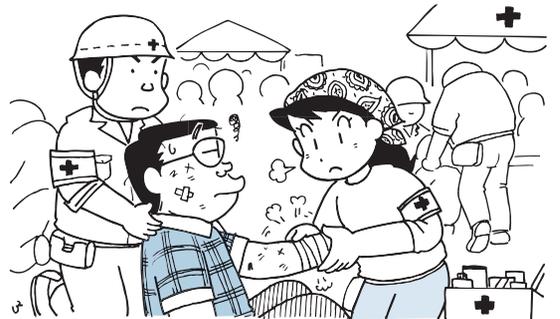
問 暫定税率問題の具体的な影響について、考えを伺う。

答 暫定税率の廃止に伴い、2億9000万円が減収になる。こうした影響は、道路の整備ばかりでなく、福祉や教育といった行政サービスへのしわ寄せも考えられることから、県とともに国及び関係方面へ強く暫定税率維持を訴えている。

地域の安心・安全の取り組みについて

問 災害時に高齢者や障害者等の要援護者を適切に避難させる体制を整備することが求められているが、蒲郡市の取り組みについてどのようなか。

答 情報共有を同意していただく手挙げ方式で要援護者情報を収集・整理し、



関係機関等と連携しながら取り組んでいきたい。

少子化対策についての取り組みは

問 妊婦健診が2回から5回に拡大されるが、県外での里帰り健診についてどのように対応するのか。

答 今までは県内のみであったが、県外受診もできるようにしたい。

高齢者の足確保対策についての対応は

問 路線バスが廃止となり、移手段がなくなると

しまった地域などで、高齢者などのために、小規模な需要に小型車両で対応できる乗り合いタクシー制度の導入についての考えを伺う。
答 バスが順次運行を縮小していく中で、市民の足の確保は痛切に必要であると考えている。前向きに検討していきたい。

日本共産党蒲郡市議団
代表 柴田安彦

後期高齢者医療制度について

問 この制度は75歳以上の高齢者には手厚い医療はしないという年齢による差別医療だと考えるが、市はどのような見解か。

答 高齢者の暮らしに配慮した治療が行われるような仕組みを導入し、在宅医療の充実、あるいは介護サービスの連携など高齢者の生活を支える医療を目指して、さまざまなものが行われていくと聞いている。特に差別医療との見解は持っていない。



問 厚生労働省は広域連合や市町村が独自の保険料の軽減措置をとれると述べている。市は負担軽減を行うべきではないか。

答 県下一律の制度ということで、軽減制度に関しては、広域連合の議会でも議論されるべきであり、市単独での負担軽減の支援策を設ける考えはない。

問 この制度において、高齢者が保険料の滞納をした場合、保険証を取り上げられ、短期保険証や資格証明書が発行されることになった。これは、所得の低い高齢者の医療を奪いかね

ない。発行をやめるべきではないか。

答 保険料の滞納があるからと、一律に機械的に行うものではなく、納付する資力がありながら特段の事由もなく長期滞納する方に対してやむを得ず行うものと考えている。

問 後期高齢者医療制度はやめるべきだと考えるがどうか。

答 高齢者の方にも一定の負担をお願いし、国民皆保険制度を将来にわたって維持できるようにしていくことを目的としたこの制度に関しては十分理解できるものと考えている。

新実祥悟（無会派）
ハーバーサイドゴルフ跡地の開発状況について

問 ハーバーサイドゴルフ跡地に大規模小売店等が開店すると聞いているが、既存商店街への影響はないか。

答 市内の商店に影響がないとは言えないが、今のところ市民からの声は届いていない。

ハーバーサイドゴルフ跡地



問 市民の利用しやすい商業施設であれば、雇用拡大、税収の伸びも期待されるが道路用地の買収に市は対応するのか。

答 現在の開発事業が済み、将来、まちづくりの中で要望路線として申請があれば検討していく。

生命の海科学館の運営について

問 生命の海科学館は、蒲郡インナーハーバー計画と一体ではないのか。

答 科学館と東港はそれぞれ検討委員会で検討していく。

大向正義（会派がまごおり）

蒲郡市医師会の委託費不正受給について

問 13年度から6年間分約1億5400万円の委託費の支払い拒否と15年度の精算額2553万円が合意されていないということだが、市の考えを伺う。

答 医師会総会では否決されたが、理事会は全員一致で通っている。総会で認められていないという意味だと判断している。

問 1年9カ月もの協議が続いてきたが、協議がとまったので、提訴に至ることになった。市の考えは。

答 協議の中で決着できればよかったが、総会で否決された以上、提訴はやむを得ないと考えている。

問 提訴後の市の対応はどうか。また、他の委託事業には影響はないか。

答 弁護士に相談しながら対応していく。人間ドックの赤字による撤退を除いて他の事業の撤退の話は聞いていない。

日恵野佳代（日本共産党）

消防の広域化について

問 県からの消防広域化推進計画案に対しての回答を伺う。また、広域化の協議に参加する場合は、地域住民・消防・医療関係者等による公開の検討委員会をつくるべきではないか。

答 「協議の場には参加するが、市民サービスの向上に寄与しなければ広域化に反対である」と県に表明している。また、検討委員会をつくっていく。

市民病院の医師確保
県へ強く要望を

問 医師不足対策の新年度予算は、愛知県は6千万円強、京都府は5億円を超えている。予算規模からみて愛知が京都並みにすれば、15億円の対策ができる。県に要望するよう求める。

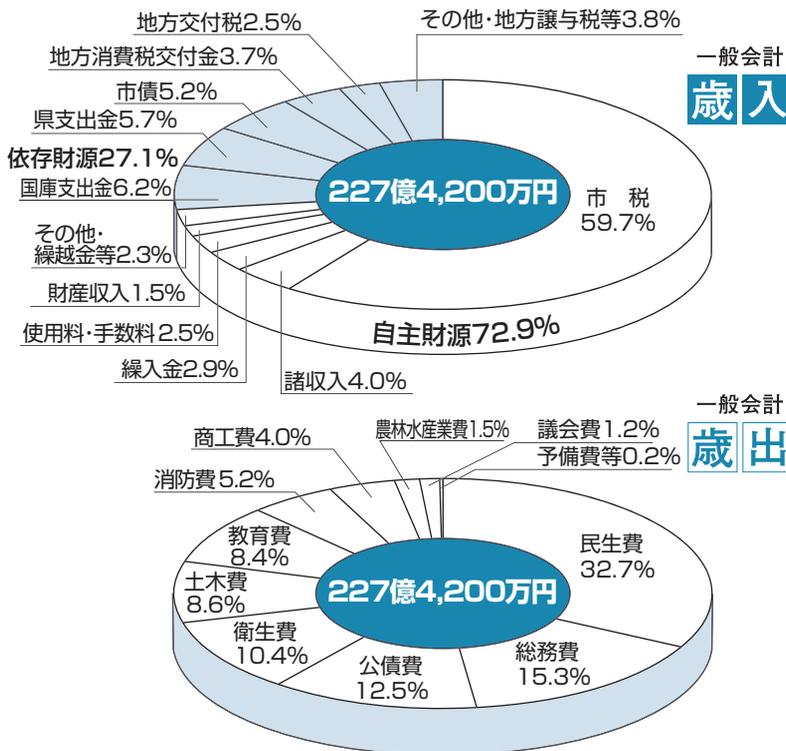
答 大変参考になった。知事や県の健康福祉部へ訴えていきたい。

平成20年度一般会計予算 などを議決



3月市議会定例会は、2月26日から3月21日までの24日間の会期で開き、議案43件を審議しました。

平成20年度一般会計予算など、その主な内容をお知らせします。



■平成20年度予算 (単位:万円)

会計別	予算額	前年度比	
一般会計	227億4,200	3.6%減	
特別会計	国民健康保険事業	78億850 2.6%減	
	老人保健	7億650 88.4%減	
	介護保険事業	46億410 5.4%増	
	後期高齢者医療事業	12億4,590 新規事業	
	モーターボート競走事業	1,373億7,000 16.5%増	
	土地区画整理事業	15億2,680 0.8%減	
	公共用地対策事業	1億3,530 9.2%減	
	下水道事業	31億3,900 42.8%増	
	三谷町財産区	4,570 11.7%増	
	西浦町財産区	1,420 19.3%増	
	小計	1,565億9,600 11.6%増	
	企業会計	水道	18億2,120 0.5%増
		資本的	10億9,720 36.2%増
病院		83億3,740 2.4%減	
資本的		4億9,330 5.9%減	
小計		117億4,910 0.5%増	
合計	1,910億8,710 8.8%増		

予算審査 特別委員会から

20年度一般会計予算など13会計予算は、20人の委員からなる予算審査特別委員会（委員長波多野努、副委員長喚田孝博）を設置し、審査をしました。

審査は、3月13日、14日、17日、18日の4日間にわたり、慎重に行いました。

●一般会計予算 前年度比3.6%の減

一般会計予算は、総額227億4,200万円の前年度比3.6%の減となっています。

歳入の59.7%を占める市税は、個人・法人市民税合わせて73,000万円の減、固定資産税は3,000万円の増、都市計画税が1,000万円の増など、市税全体では0.2%減の135億8,290万円です。

歳入全体の財源構成は、市税、繰入金、諸収入などの自主財源が72.9%、市債、国・県支出金などの依存財源が27.1%となっており、自主財源が前年度に比べ、1.5ポイント増加しました。

20年度の新規施策の主な内容については、次のとおりです。

医療費の全額助成の対象を、入院は中学校卒業まで、通院は小学校卒業までに拡大するため、3億3,509万円が計上されました。

小学3年生及び中学1年生で35人学級を実現するために、4,000万円が計上されました。

学校の安全、図書、楽器、設備の充実などのために各学校に3,000万円を配分し、特色ある学校づくりを推進

3月定例会の日程

《2月》	
26日	本会議〔会期の決定、諸般の報告、予算大綱説明、議案説明など〕 予算審査特別委員会
《3月》	
5日	本会議〔一般質問〕
7日	本会議〔一般質問〕
10日	総務委員会
11日	経済委員会
12日	文教委員会
13日	予算審査特別委員会
14日	予算審査特別委員会
17日	予算審査特別委員会
18日	予算審査特別委員会
21日	本会議〔委員長報告、質疑、討論、採決など〕

するため、6000万円が計上されました。

そのほか、みどり保育園の民営化をはじめ、特定健康診査等事業、新泉源開発事業費補助金、全国伝統花火サミット事業負担金、民間非木造住宅耐震診断事業費補助金などが予算化されました。

●歳出
●総務費

協働のまちづくり基金

問 20年度に積み立てる300万円の積立金の運用は。

答 基金の仕組み、運用方法については現在決まっていない。今後、市民との組織を作って考えていきたい。20年度中には基金を設置したい。実際の執行は21年

度からと考えている。

●民生費
保育園給食について

問 保育園の給食を自園調理に変えていくべきではないか。

答 センター給食が出せないなら、弁当を持ってきてもらってでも、早急に自園調理に切り替えていくべきだと考えている。

問 保育園が民営化になり、給食の食材費を削り、質の悪い食材が使われたという事例を聞くが、蒲郡市ではどうか。

答 一般生活費の中で給食にかかる費用の割合が蒲郡市の場合60%から70%ぐらいである。民営化されても国、県の監査で確認できる。

●衛生費

一般不妊治療助成事業

問 昨年の10月から実施していると聞いている。今までの実績と周知方法を伺う。

答 3月13日現在までの申請者数は12人、助成額が24万6000円。周知方法としては、広報がまごおりへの掲載や、直接医療機関にチラシを持っていきながら、医療機関からこの事業について周知してもらうようにお願いをした。

●農林水産業費

漁業後継者育成

問 漁業後継者育成はたいへん難しく、なかなか新しい人材が集まらないと思うが、相談などに応じてくれる県の施設などはあるのか。

また、市や漁業協同組合の対応は。

答 県の施設として、三谷町の水産試験場の中に漁業就業者確保育成センターがあり、蒲郡の方は利用しやすいと思う。

各漁協からは、新規就業者があると申請が出され、市は祝い金を出している。

●商工費

観光宿泊客2割アップ

問 観光宿泊客2割アップとは、具体的に何人を目標としているのか。また、いつまでに達成することを目標にしているのか。

答 19年の宿泊客が82万8406名であったので、100万人を目標にしている。市長のマニフェストにある施策なので、4年を目標に達成したいと思っている。

●土木費

インナーハーバー計画改訂

問 東港活用検討委員会とインナーハーバー計画改訂はどれくらいの期間で行われるのか。期間の制限により、大雑把な内容にはならないか。

答 インナーハーバー計画改訂はウォーターフロント開発協会からの助成金の対象となる20年度中に行いたいと考えている。東港活用検討委員会については、年内に1つの方向を出したいと考えている。2つとも事務局は企画広報課であるので、調整をしていきたい。

●消防費

新消防庁舎建設

問 新消防庁舎は、20年度にはどの程度建設が進んでいくのか。

答 現在、実施設計図面を作成中である。今後は6月に建築確認申請を行い、12月議会に契約を上程するよう考えている。その後、年明けに着手し、年度内には基礎工事と1階部分の建設が進んでいく予定である。

●教育費

豊かな体験活動推進事業

問 豊かな体験活動推進事業委託料の内容を伺う。

答 市内7中学校に一律60万円を配分し、長期の宿泊体験を通して子どもの感性、社会性を育てる事業である。自然教室の内容は各校の裁量で、19年度は、夏の乗鞍へ5校、冬の妙高へ2校が3泊4日で行っている。

●歳入

財政調整基金繰入金

問 財政調整基金の20年度末残高はどれくらいか。

答 18年度末で18億396

0万円であったが、決算積立て、取崩し等を差引きすると19年度末では11億1770万円となる。

20年度に5億9700万円の取崩しと1320万円の利子積立てを予定している。20年度末残高は5億3390万円と見込んでいる。

●モーターボート競走事業 特別会計

競艇8大ビッグレースの1つであるSGオーシャンカップ競走を蒲郡で開催するにあたり、収益確保に努めるとともに、高品質なサービスや新規ナイターレースファンの拡大を図るために、153億9870万円が計上されました。

競艇場内の活性化

問 場内の売店の売上げが苦しいと聞くが、食堂、売店に対してどのようなサービスをしているか。

答 食堂、売店には使用料の減免をしている。また、場内売店、食堂で使える金券をファンサービスで配っている。指定席でのワゴン販売などの相談があれば積

極的に乗っていききたい。

●水道事業会計

年度末給水栓数は3万1699栓、1日平均給水量は2万8508m³を予定しており、収益的収支は9020万円の黒字予算となっています。

●病院事業会計

1日平均入院患者数を313人、外来は850人と見込んでいます。収益的収支は7億6400万円の赤字予算です。

条例の制定・改正

●市役所の壁面等に有料広告物の掲出が可能に (第6号議案)

蒲郡市行政改革委員会による自主財源確保のための有料広告導入の提言を受け、市役所等の壁面等に有料で広告物を掲出することができるとなりました。

●総務委員会での主な質疑

問 まちの景観や美観を損なう広告への規制についての考え方はどうか。

答 景観を保持しつつ有料広告を導入していくために、今回は市役所庁舎内の3カ

所での掲出を予定している。また、広告審査委員会では、景観等は当然考慮する要件の1つとなっている。

問 1m²あたりの使用料が、月額1万5000円以内となっているが、適正金額はいくらくと考えているか。

答 適正金額は通常、駅のポスターが基準になり、乗降客数等で計算すると、1m²あたり月額3800円くらいが平均的な単価となるので、実際には4000円くらいと考えている。

●蒲郡南駅前広場

公共駐車場が利用可能に (第8号議案)

4月1日から、蒲郡南駅前広場公共駐車場が利用できるとなりました。利用時間は終日ですが、入場は午前6時から午後10時までとなります。利用料金は30分ごとに100円です。

ただし、入場後30分までの利用と午後10時から翌日午前6時までの利用は無料となります。

●経済委員会での主な質疑

問 北駅駐車場と一体の管理を考えているか。

蒲郡南駅前広場公共駐車場



答 一体の管理は考えていないが、予算の範囲内で適切な管理ができるよう対応していく。

問 30分の無料時間を設定した理由は何か。

答 駅の送迎用、または周辺施設の短時間利用客のために設定した。

●後期高齢者医療始まる (第13号議案)

4月から後期高齢者医療制度が始まることに伴い、市が行う窓口事務や保険料の納期などが条例で定められました。

●国民健康保険税の見直し (第15号議案)

国民健康保険税が平成20年度分から所得割額が6・75%に、資産割額が22・5%に、世帯別平等割額が3万円にそれぞれ引き下げられ、限度額が59万円に引き上げられます。

今回の改正により、1世帯当たりでは8142円、1人当たりでは4369円の引き下げになると試算されています。

●文教委員会での主な質疑

問 特別徴収の対象者は何人ぐらいか。また、具体的にはいつから開始するのか。

答 455人が特別徴収となる見込みである。開始の時期は20年10月の年金支払月からとなる。

なお、1期の7月から3期の9月までは、普通徴収で納めていただく。

問 低所得者に対する減免の対象者は、何人ぐらいとなるのか。また、改正による所要額はどのくらいか。

答 対象者は約1590人と見込んだ。改正による所要額は約500万円。

3 月定例会で審議された議案の一覧

○条例の制定・改正・廃止

- ① 市職員の自己啓発等休業に関する条例の制定
- ② 地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定
- ③ 市職員の給与に関する条例の一部改正
- ④ 市職員及び市企業職員の地域手当に関する条例の一部改正
- ⑤ 市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正
- ⑥ 行政財産使用料条例の一部改正
- ⑦ 固定資産税等の課税の特例に関する条例の一部改正
- ⑧ 公共駐車場条例の一部改正
- ⑨ 宝飯都市計画蒲郡下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正
- ⑩ 市営モーターボート競走条例の一部改正
- ⑪ 在宅ねたきり老人等手当支給条例の廃止
- ⑫ 介護保険条例及び介護保険条例の一部を改正する条例の一部改正
- ⑬ 後期高齢者医療に関する条例の制定
- ⑭ 国民健康保険条例の一部改正
- ⑮ 国民健康保険税条例の一部改正
- ⑯ 市民会館条例の一部改正
- ⑰ 塩津柔剣道場及びプールの設置並びに管理に関する条例の廃止
- ⑱ 博物館の設置及び管理に関する条例の一部改正

○予算

- ⑳ 平成 20 年度一般会計予算
- ㉑ 平成 20 年度国民健康保険事業特別会計予算
- ㉒ 平成 20 年度老人保健特別会計予算
- ㉓ 平成 20 年度介護保険事業特別会計予算
- ㉔ 平成 20 年度後期高齢者医療事業特別会計予算
- ㉕ 平成 20 年度モーターボート競走事業特別会計予算
- ㉖ 平成 20 年度土地区画整理事業特別会計予算
- ㉗ 平成 20 年度公共用地対策事業特別会計予算
- ㉘ 平成 20 年度下水道事業特別会計予算
- ㉙ 平成 20 年度三谷町財産区特別会計予算
- ㉚ 平成 20 年度西浦町財産区特別会計予算
- ㉛ 平成 20 年度水道事業会計予算
- ㉜ 平成 20 年度病院事業会計予算

○補正予算

- ㉝ 平成 19 年度一般会計補正予算(第 4 号)
- ㉞ 平成 19 年度老人保健特別会計補正予算(第 1 号)

その他の議案

●医師会に対する委託料
精算金請求訴訟を提起

蒲郡市医師会が休日急病診療所運営委託事業と人間ドック運営委託事業の委託料の精算金の支払に際したため、精算金と遅延損害金の支払を求める訴訟が提起されました。精算金額は 13 年度から 18 年度までの 6 年度分で 1 億 5 439 万 2 297 円です。

●文教委員会での主な質疑
問 具体的に、いつから訴訟に入るのか。

ヤマト発動機(株)から購入し

ます。
万 8000 円、ボート 65 隻
モーター 65 基を 4258
を 3605 万 1697 円で

●物品の購入(モーターボート競走用モーター及びボート)
答 引き続きやっていただけるものと思っ

問 医師会が人間ドックから撤退するとの報道があったが、市はどのように考えているか。
答 引き続きやっていただけるものと思っ

答 訴訟の時期については、弁護士と相談して決めていきたい。

- ㉟ 平成 19 年度モーターボート競走事業特別会計補正予算(第 4 号)
- ㊱ 平成 19 年度土地区画整理事業特別会計補正予算(第 1 号)
- ㊲ 平成 19 年度下水道事業特別会計補正予算(第 2 号)
- ㊳ 平成 19 年度水道事業会計補正予算(第 1 号)
- ㊴ 平成 19 年度病院事業会計補正予算(第 2 号)
- その他
- ㊵ 市道の廃止
- ㊶ 住居表示に関する法律第 3 条第 1 項の規定による本市における市街地の住居表示区域及び当該区域における住居表示の方法
- ㊷ 訴訟の提起
- ㊸ 物品の購入(モーターボート競走用モーター及びボート)
- ① 社団法人蒲郡市医師会に対する総合調整

(○内の数字は議案番号。ただしローマ数字は議員提出議案。①は否決され、⑥、⑩、⑪、⑬、⑲、㉓、㉔、㉕ は賛成多数で、それ以外は全会一致で可決されました。)

■陳情

○要望書

提出者 蒲郡市手をつなぐ育成会
会長 生駒吉昭 氏ほか 2 団体
審査結果 聞きおく

議会日誌

12月27日から4月18日

1月

28日 議会運営委員会理事会

2月

14日 議会運営委員会理事会

18日 3月定例会招集告示
3月定例会提出議案説明会

21日 議会運営委員会理事会
議会運営委員会

26日～3月21日
3月定例会

3月

21日 議会だより編集委員会
議会運営委員会理事会

4月

8日 議会だより編集委員会
18日 議会運営委員会理事会



5月臨時会
6月定例会の
開会日・日程等は

5月市議会臨時会は、5月15日(木)に開会します。臨時会では、議案の審査のほか任期満了となる各常任委員と議会運営委員の選任等が行われます。詳しい日程は、5月12日(月)に開かれる予定の議会運営委員会で決まりますので、それ以後に議会事務局へお問い合わせください。なお、市役所1階ロビーでもお知らせします。

6月市議会定例会は、6月10日(火)に開かれる予定です。

本会議の日程と一般質問



の内容は、決まり次第、市議会のホームページに掲載しますので、そちらにアクセスしていただき、お知らせ欄をご覧ください。

本会議の傍聴を希望される方には、会議当日、市役所7階の議会事務局で先着順に傍聴証をお渡しします。

点字版とテープ版も
発行しています

がまごおり議会だよりは、目の不自由な方向けに、点字版とカセットテープ版を発行しています。

点字版は、点訳奉仕グループ「あい」の皆さん、カセットテープ版は、ボランティアグループ「声」の皆さんのご協力で発行されています。

また、議会だよりは、市内JR3駅のほか市民病院や市役所出張所にも置いてあります。なお、インターネットでもご覧いただけますので、アクセスしてください。

こちら編集委員会 66-1169

満開の桜の花が春を彩り、人々の新たなスタートを祝福しています。

昨年の市長選挙で掲げられたマニフェストをもとに、新年度には26項目の新規事業が盛り込まれました。平成20年度の予算を審査するのがこの3月定例会中に開かれる「予算審査特別委員会」です。

昨年までこの特別委員会は、3日間と予備日1日の日程で審査をしておりましたが、今回より4日間の審査日程とし、連日慎重審議が重ねられました。限られた予算をいかに効率的・重点的に配分し、多様な市民ニーズに答えていくのは、大変重要なことであります。

今後は、予算の執行をチェックしながら市民皆様の負託に応えるべく議員活動に精励してまいります。今後とも市議会にご注目下さい！

議会のことば - 代表質問

一般質問のうち、議員個人が行う「個人質問」に対して、議員が会派を代表して行う質問を「代表質問」といいます。

本市議会では、昭和43年3月定例会から、代表質問制を採用し、これに個人質問を併用しています。

これは、3月定例会に市長の新年度予算大綱説明(市長提案説明要旨)があり、個々の議員が、同一の内容について質問することを避けることを目的としています。

代表質問の発言の順序は、多数会派順ですが、同数の場合は議会運営委員会理事会で協議し、議会運営委員会で決定します。

3月議会では、4会派が各会派の政策にそって、市長の新年度予算に対する考え・方針を質す代表質問が活発になされました。